



「新コロナの感染」

柳原 昭三

僕は、共同ホーム一步に住んでいます。1月の下旬からつづきさまに、コロナウイルスのPCR検査で陽性が5人も出てしまったので、共同ホームは大変でした。

共同ホーム一步には、10人の入居者がいて、2月4日から2月10日の間は、全員一日中一步にいてはならないことになってしまいました。それぞれの部屋でのんびり過ごしていました。

僕が感じたのは、長い休みがあっても何にもしていなかったことが気づいたのが、9日の夜でした。10日は少し部屋の片づけをただけでも気持ちやすくなりました。

入居者が全員いることで、昼間も職員がいなくなるとはいけなくなり、職員の体制も崩れてしまいました。一步の職員だけでは回しきれないので、あさやけ風の作業所とあさやけ作業所から職員が応援に来てもらって、みんなの生活が快適に過ごすことができました。

応援に来てくれたあさやけ風の作業所とあさやけ作業所の職員の皆さん、本当にありがとうございました。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班

〒187-0033 小平市中島町3-8

TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp

<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.333
2022年3月20日

詩集

もうすぐ^{はる}春だよ

ひと
人それぞれ

もうすぐ^{はる}春の^{きせつ}季節が
^き来ていると^{かん}感じるのは

バラバラだよ

ぼく ^{はる} ^{きせつ}
僕が春の季節が

^き来ていると^{かん}感じるのは

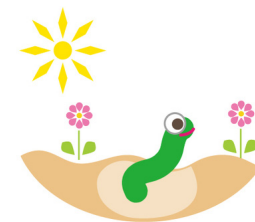
^{てんきよほう}
天気予報で

^{さんかんしおん} ^{ことば}
三寒四温の言葉を

^き ^{とき}
聞いた時に

^{はる}
春がすぐそこまで

きていると^{かん}感じる



Shozo

短歌

一、 生きづらさを感じる時代
一、 窓辺より林の芽吹き眺めおり
プール入りぷかりぷかりと思考する
イースターの日に神に感謝

竹内 桃子



「はじめまして！」

あさやけ風の作業所 田中 宏毅

1月中旬にときわ会に入職し、あさやけ風の作業所で勤務しています。

1973年生まれ／広島県出身、現在の住まいは立川市／家族4人で暮らしています。

就職と同時に上京し長い間「SE（システムエンジニア）」として働いてきましたが、3年前に退職して福祉の世界に飛び込みました。異業種へ転身し今でもバタバタしている日々ですが、SE職よりも密に人と人がつながり接する事の多いこの仕事にやりがいを感じています。

風の作業所では「とうたす班」に所属し、施設利用の皆さんと一緒にパソコンを使って印刷物の編集作業を行っています。初めて使うソフトウェアも多く戸惑いもありますが、皆さんにいろいろ教えてもらいながら何とかこなしている毎日です。

パソコンを使う仕事との「縁」がなかなか切れないなあとも感じっていますが、私の持つ知識や経験が少しでも一緒に働く皆さんのお役に立てるよう、頑張ります！